

## 第23回シンポジウム「高齢社会を共に生きる」の 実践報告要旨

### 「なの花プラン大作戦」

—安心と安全を支える みんなが主役の福祉コミュニティづくりへの挑戦—  
松本 都志子(鴨川市社会福祉協議会事務局次長)

過疎化の進んだ中山間地域と市街地化した地域の2つをモデル地区に指定し、“お互いさま”を合言葉に住民と協働して「いつまでも安心して安全に住み続けられる地域づくり」に取り組んだ。具体的には、高齢者の生活を支える「買い物支援活動」、地域の拠点としての「サロン活動」、子供たちの安全を確保する「辻見守り隊」、孤独死防止の「マンションサロン活動」、世代間交流活動など、参加する住民が主体の自主活動を核に『福祉でまちづくり』を展開した。

(所在地) 千葉県鴨川市八色 887—1

### 「わがまちを元気に！ 地域で創る包括ケア体制」

—地域包括支援センターを拠点とした包括的サポートシステムづくり—  
須田 敬一(松江市社会福祉協議会事務局長)

地域特性の異なる5地区のモデル事業を通して、地域包括支援センターを拠点とした総合相談のあり方や、専門職チームと公民館・地区社協の住民活動が連携・協働するコミュニティソーシャルワークの展開方法を模索した。具体的には、「まめまめ体操」「介護予防マップ」を中心とする介護予防システムづくりや認知症高齢者の見守りネットワークづくり、「地域生活支援会議」の設置等を通して、個別支援と地域支援を一体的に提供する仕組みづくりに取り組んだ。

(所在地) 島根県松江市千鳥町70

### 「高齢者交流『おたっしやサロン』の出前方式での展開」

—高齢者密集地域を支える仕組みづくり支援—  
山王丸 由紀子(NPO法人フェリスモンテ)

高齢者がいきいきと元気に過ごされることを目指して、高齢者集いの場「おたっしやサロン」を展開するとともに、地域コミュニティづくりに取り組んできた。具体的には、高齢者宅での出前サロンの展開や常設サロンの開催、学生・子ども等の多世代が参加するイベントの実施、行政・社協等の各種団体との連携による商店街での買物品のお運び事業や男性シニア向け講座の開催など、地域におけるNPO法人の活動を模索した。

(所在地) 大阪市旭区中宮 4—11—30